

びろっぱ

Vol.443 6

近森病院 運営方針の改定

資格取得〈循環器内科医師3名〉

看護外来のご案内

医療情報

衝撃波で
冠動脈石灰化を砕く
「ショックウェーブ」

表紙の写真



衝撃波で石灰化を砕く「ショックウェーブ」



近森病院 循環器内科 部長
西田 幸司 にしだ こうじ

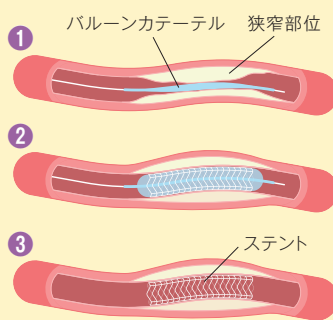
冠動脈石灰化病変に対する革新的治療法

冠動脈石灰化の弊害

狭心症の治療法として、冠動脈の狭窄部位にステントを留置する冠動脈形成術(PCI)が行われています。しかし、動脈硬化が進行し、カルシウムが沈着して血管が骨のように硬くなる冠動脈石灰化の場合、PCIの治療は困難となります。このような状況では、治療成績が悪化し、治療に伴う合併症も増えることがあります。冠動脈石灰化は、まさにPCIにとってのアキレス腱と言えるでしょう。

冠動脈石灰化の場合、現在までは石灰化を削るロータブレードやダイヤモンドバックで治療を行っていますが、高度な治療技術が必要であり、場合によっては効果的に治療できないこともあります。

冠動脈形成術(PCI)とは



- 1 狭窄部位にバルーンカテーテルを挿入する。
- 2 バルーンを膨らませ狭窄部位を押し拡げる。
●石灰化が進みバルーンで狭窄部位を拡げられない場合、ショックウェーブなどで石灰化を破碎。
- 3 ステントを留置して、バルーンカテーテルを抜去。

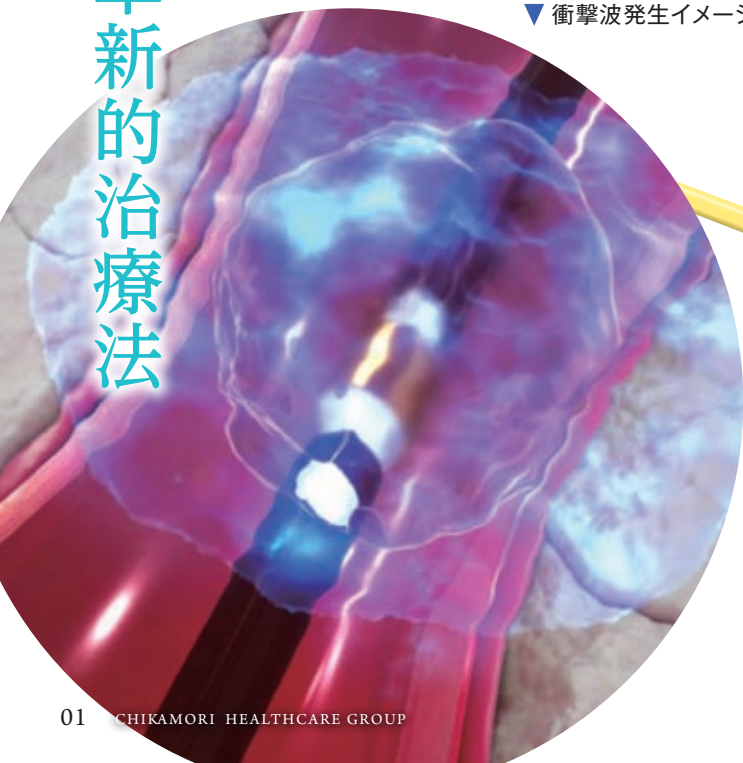
石灰化病変に衝撃波

この度、近森病院で導入されたショックウェーブは、これらの問題点を解決できる革新的な治療方法です。石灰化病変に衝撃波を照射することで、石灰化した動脈硬化を柔らかくし、ステントを適切に拡張しやすくします。特に、合併症が少ないことが特徴であり、多くの患者さんにとって安全かつ効果的な治療方法となり、治療成績の向上も期待できます。

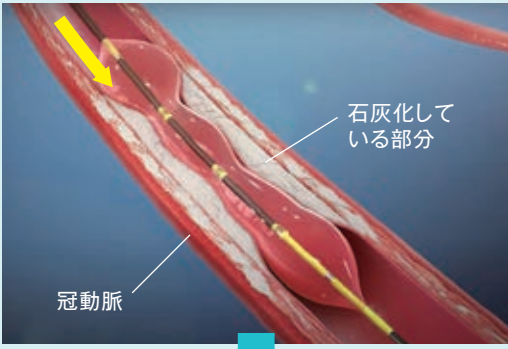
これにより、従来のPCIでは治療が困難だった患者さんにも適切な治療が提供され、より多くの人々が狭心症を克服できるようになると期待しています。



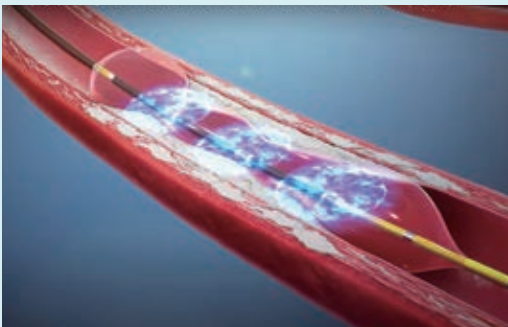
▼ 衝撃波発生イメージ



ショックウェーブの流れ



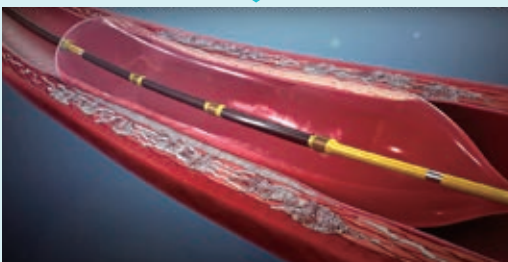
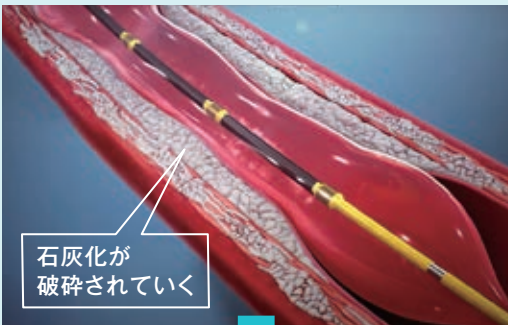
1
小さなバルーンが付いたカテーテルを、石灰化のある箇所では膨らませ対象血管へ圧着させる。



2
衝撃波で硬い石灰化を砕く。

POINT!

- 衝撃波は硬い部分にのみ作用するため、血管壁を通過し、硬い石灰化を破碎し柔らかくする。
- 石灰化病変は冠動脈血管壁の内側(内膜～中膜)にあるため、破碎後も遠位塞栓症(破碎した石灰病変のくずが血管につまる)のリスクが低い。

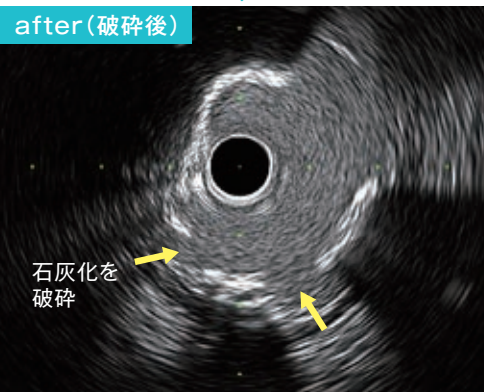
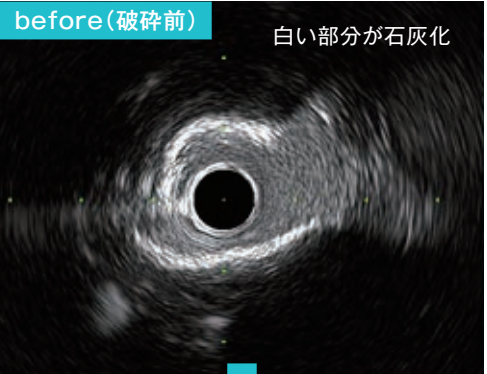


3
石灰化が破碎された血管では、冠動脈形成術(PCI)においてステントを適切に拡げることができる。



▲臨床検査技師が検査画像をもとに石灰化の破碎状況を確認し、医師をサポート。

血管内超音波画像



冠動脈形成術(PCI)へ

すべては患者さんのために
～最先端の医療技術で
最高の医療を～

近森病院では、ショックウェーブPCIの導入をはじめ、最先端の医療技術を患者さんのために積極的に取り入れることに努めております。これからも、最高の医療を提供することを目指し、患者さんとそのご家族の方々の健康と安心のために尽力してまいります。

※画像: ©2023 Shockwave Medical, Inc. All Rights Reserved.
©2023 Adobe. All Rights Reserved. 他

近森病院の 運営方針 改定しました

◆ 2023年3月1日改定

1. わたしたちは、急性期医療を柱として24時間365日いつでも、よりよい医療が提供できるよう、努めます。
2. わたしたちは、より安全で安心な質の高い医療を目指し、先進医療の推進や高度医療を実践するよう、努めます。
3. わたしたちは、地域医療支援病院として、つねに連携を図り地域に求められる役割を果たせるよう、努めます。
4. わたしたちは、患者さんと接するすべてのスタッフがそれぞれの専門性を発揮し、チーム医療を実践するよう、人材育成に努めます。

参考(旧)

1. わたしたちは、急性期医療を柱として24時間365日いつでも、よりよい医療が提供できるよう、努めます。
2. わたしたちは、地域医療支援病院として、つねに地域に求められる役割を果たせるよう、努めます。
3. わたしたちは、患者さんと接するすべてのスタッフがそれぞれの専門性を発揮し、チーム医療を行えるよう、努めます。

2022年度 数字でみる近森会グループ

2022年4月～2023年3月

※「近森病院」の実績は精神科をのぞく

近森会グループ 職員数 (2023年4月1日現在) 1,936人 委託を含む実質的な職員規模は 2,279人 となり、多くのスタッフでチーム医療を展開し、日々患者さんをサポートしています。	近森病院 救急車搬入件数 6,802件 ・院内救急車出動件数 151件 ・ドクターカー 102件 ・ドクターヘリ受入件数 99件	近森病院 延べ入院 140,953人 急性期病院として一般病床 452床 を確保。常時入院中患者さんは、1日当たり平均 386人 。	近森病院 退院患者数 10,573人 患者さんが1年間に退院された数字です。平均在院日数は 11.94日 です。
近森病院 手術件数 6,172件 急性期医療に取り組む近森病院では、一刻を争う患者さんが多く、日曜日関係なく、1日当たり平均 17件 の手術数です。	近森病院 延べ外来患者数 146,443人 地域医療支援病院として地域に密着した医療を展開しています。外来患者さんは1日当たり平均 401人 (土日祝日を含む)です。	近森病院 精神科 総合心療センター 〈精神科〉 1日平均外来患者数 102人 〈パティオ〉 ・復職率 76% (30人中23人) ※復職目的→復職成功者 ・再就職率 16% (55人中9人)	近森リハビリテーション病院 在宅復帰率 82.7% ・重症患者割合 (日常生活機能評価10点以上) 44.4% ・重症患者改善率 (日常生活機能評価) (点数4点以上改善) 46.9%
近森オルソリハビリテーション病院 在宅復帰率 ・回復期病床 84.8% ・地域包括ケア病床 87.2% ・病床稼働率 89.2% ・延外来患者数 11,487人	社会福祉法人ファミユ高知 就労継続支援事業 B型利用者工賃 ※(実績月額) 〈しごと・生活サポートセンター ウェーブ〉 25,493円 〈高知ハビリテリングセンター〉 20,945円 ・全国平均(2021年度) 16,507円 ・高知県(2021年度) 20,597円 ※工賃…利用者が受け取る労働の対価	在宅支援部門 延べ件数/利用者実人数 ・訪問看護 590件 / 99人 ・訪問看護(精神) 370件 / 141人 ・訪問リハ 396件 / 69人 ※データは月間平均数値	近森会グループ看護部 リソースナース 在籍人数 ・専門看護師 7人 ・認定看護師 (うち特定行為含む 4人) 10人 ・認定看護管理者 6人 ・特定行為研修修了者 25人 ・精神科認定看護師 3人 ・回復期リハビリテーション看護師 8人

資格取得

認定心エコー図専門医

診断から治療まで!

近森病院 循環器内科 部長 中岡 洋子
なかおか ようこ

心エコーは循環器疾患の病態把握に重要な検査です。当院では、1年間に経胸壁心エコーを約1万2,000件、経食道心エコーを約400件実施しています。

心エコーというと「診断だけ」とわれがちですが、構造的な心疾患治療である僧帽弁閉鎖不全症に対するMitraClip®や左心耳閉鎖術、卵円孔開閉鎖術などのカテーテル治療中は心エコーによる評価が必須で、最近では手術室滞在時間が長くなりました。

これからさらに重要になってくる心エコー検査を、臨床検査技師をはじめとする仲間とともに拡充させていきたいと考えています。最後に、近森病院は県内で初の心エコー図専門医研修関連施設に認定されました。後進の育成にも力を入れていきたいと思っています。

SHD心エコー図
認証医

SHDってなに?

近森病院 循環器内科 岡本 奈緒
おかもと なお

SHD心エコー図認証医を取得しました。私が不勉強だったこともありますが、循環器専攻医になった頃はSHDという言葉さえも知りませんでした。

SHD (Structural Heart Disease) は直訳すると構造的な心疾患、実際は虚血性心疾患以外でカテーテル治療が適応となる疾患という意味で使用されています。治療の適応、治療中の安全な手技、治療効果判定など、エコーでの評価が重要です。最近ではカテーテル治療ができる疾患は増え、まだまだ今後発展していく分野だと思います。

患者さんにとって適切時期での安全な治療ができるように、ハートチームの一員として治療に貢献できるように頑張っていきたいと思っています。

県内初!

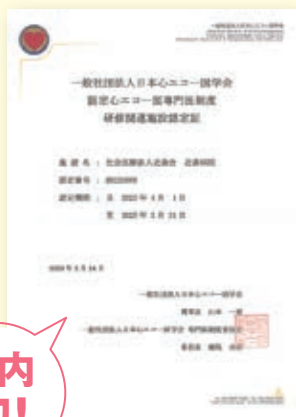


循環器内科3名資格取得
心エコー検査
拡充をめざして



施設認定

認定心エコー図専門医制度
研修関連施設



SHD心エコー図認証医/
総合内科専門医

専門性も総合力も

近森病院 循環器内科 富士田 崇子
ふじた たかこ

SHDの手技においては経食道エコーガイドが「術者の目」として非常に重要な役割を果たします。数年前までまともに検査もできなかった私ですが、窪川・中岡先生、技師さんにご指導いただき、この度資格を取得できました。

このように循環器内科医として専門性を磨く一方で、患者さんは高齢でマルチプロブレムを抱える方が多く、単に循環器疾患を治療すれば患者さんが幸せになるわけではないことを実感する毎日です。医療の細分化が進む中で内科医として自分の守備範囲を広げ、時に社会的、精神的な問題などを含めて広い視点で患者さんをみようとするマインドと、それに相応しい知識+ここからは専門家に任せられた方がよいと適切に見極める判断力が重要と感じます。

総合内科専門医試験の範囲は内科全科にわたり膨大でハードルが高かったですが、試験勉強を通して得た知識を日常臨床に活かしながら学びを続け、「総合的に患者さんを診る目」を養っていききたいと思います。



「総合内科専門医」の資格も取得。

学会発表

米国心臓病学会

American College of Cardiology

[ACC'23]

2023年3月4~8日 / 米国・ニューオーリンズ

今年は現地へ!



学術担当顧問 土居 義典
どい よしのり

米国心臓病学会年次学術集会は世界中から1万を超える演題応募があり、その3割程度のみ採択されるトップレベルの国際学会です。今回、西村・小松・中山医師の3名が昨年からの取り組んできた研究テーマの4演題を発表出来たことは、近森病院にとっても画期的なことだと思います。3名の意欲と努力を高く評価します。

また、米国からのみならず世界中から参加した若手医師と、英語という壁を乗り越えて意見を交換し、刺激を受けることによって、彼らの目が世界に向けて開かれ、研究のみならず診療においても世界レベルを目指す努力につながることを期待しています。学会発表だけに終わらずに、今回の発表内容を論文化できるようにサポートも続けたいと思います。“我こそは”という意欲のある若手医師の研究活動への参加も歓迎しますので、ぜひチャレンジして下さい。

感謝と挑戦

近森病院 循環器内科 西村 祐希 にしむら ゆうき

演題

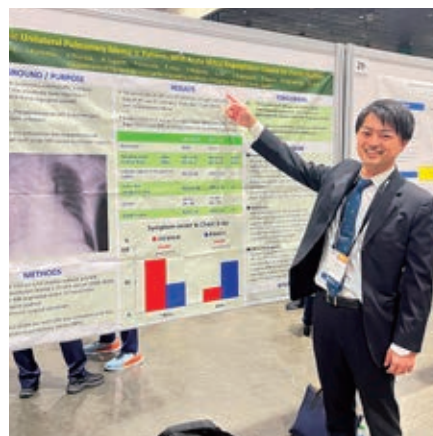
Cardiogenic Unilateral Pulmonary Edema in Patients With Acute Mitral Regurgitation Caused by Chordal Rupture

昨年のひろっぴに「次はニューオーリンズで」と、演題採択かつ現地に行けることに願いを込めた題名にしてよかったです。

土居先生と始めた二つ目の臨床研究の報告をすることができました。事前に準備していた英語は1割ほどしか喋れず、後は身振り手振りして笑ってごまかしました。雰囲気、参加人数、学会会場どれをとっても圧倒的で、経験できるよう指導して下さった土居先生をはじめ、快く送り出してくださった循環器内科の先生方に感謝しております。

「オルソーダウ」。中山先生、小松先生と3人とも無事発表が終わり、ミシシッピ川を運行するクルーズに乗ろうとチケット売り場に行ったことです。チケットが欲しいと何度言っても、早口で少し機嫌が悪そう

に10回くらい言われました。最終的には紙に「All sold out」と書いて渡され、もうちょっとゆっくり言ってくれたらと言いつつしながら、恥ずかしく3人で笑ったことが良い思い出です。ジャズを聴きながら豪快な料理をほおぼり、力もついたので、また来年の海外学会にも果敢に挑んでいきたいと思えます。



3年ぶり開催

第23回 公開県民講座

コロナの間に進んだ医療

7/23 日 14:00
開場 13:30
※16:00頃終了の予定です



参加無料 申込不要 詳細はコチラ



プログラム

- | | |
|-------------------------------------|----------------------|
| 開会のご挨拶 | 入江 博之 (近森会副理事長) |
| ① 再生医療でキズを治す! PRP療法 | 杉田 直哉 (形成外科部長) |
| ② ここまでできる、膀胱の早期診断 | 大川 良洋 (消化器内科科長) |
| ③ 先生と話しながら治す! 腰の内視鏡手術!! | 井ノ口 崇 (整形外科部長) |
| ④ 令和版 ナースのお仕事
看護師ができるようになった医師の仕事 | 山中 京子 (ICU病棟看護師長) |
| 新米院長から | 川井 和哉 (近森病院院長) |
| ⑤ 心房細動のカテーテル治療 | 三戸 森児 (不整脈センターセンター長) |
| ⑥ 心臓治療でできる脳梗塞予防 | 細田 勇人 (循環器内科科長) |
| ⑦ 脳血栓を取る! カテーテル治療 | 西本 陽央 (脳神経外科科長) |
| ⑧ 僧帽弁のカテーテル治療 | 菅根 裕紀 (循環器内科科長) |
| ⑨ 大動脈弁のカテーテル治療
バージョンアップ! | 田井 龍太 (心臓血管外科科長) |
| 閉会のご挨拶 | 近森 正幸 (近森会理事長) |

近森病院での研究を世界へ @ニューオーリンズ

近森病院 循環器内科 小松 洵也
こまつ じゅんや

演題

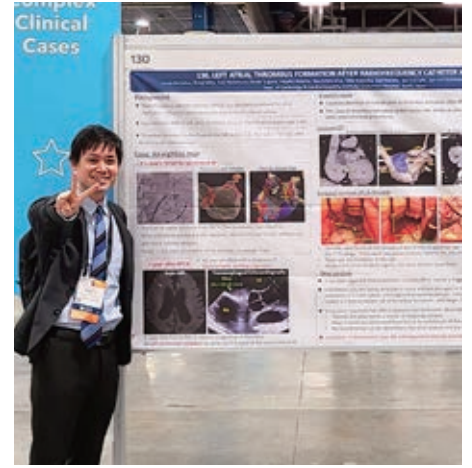
- 1 Octogenarians and Nonagenarians With Acute Myocardial Infarction
- 2 Left Atrial Thrombus Formation after Radiofrequency Catheter Ablation

4年前に初めて海外発表したニューオーリンズの地で、ありがたいことに症例報告と臨床研究の2演題を採択いただき、さらには中山先生・西村先生と同時発表することができ、何重にも嬉しい経験となりました。20時間を超える移動時間、世界的なホテル代高騰から男3人でワンルームアパートでの滞在、食事は毎回アメリカンサイズで爆盛りなど、体育会系部活を彷彿とさせる非常にハードな学会でした。

以前からの課題でもある英語での質疑応答には苦戦を強いられましたが、body languageとpassionでなんとか乗り切りました。追加の検討課題も得られ、多くの発表・

ディスカッションから刺激を受けました。世界中の人が聞いたこともないKochiという地域から、世界へ向けて自施設のデータを引き続き発信していきたいと思っています。

アメリカはすでにアフターコロナ時代を迎え、マスク装着の規制もなく、天気にも恵まれ、ミシシッピ川の流れのようにゆっくりとした時間も過ごすことができました。帰国後は忙しい日常にすぐに戻りましたが、モチベーションが低下しないうちに本発表の論文化へ向けて頑張ります。ご指導いただきました土居先生をはじめ、不在中に代行をしてくださった多くのみなさんには心から感謝申し上げます。



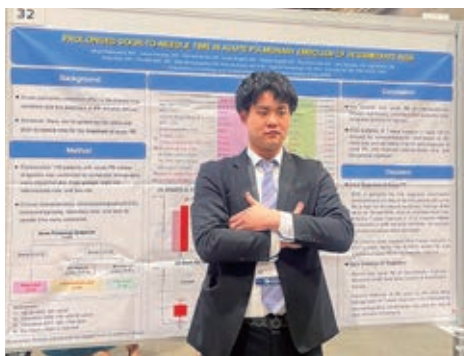
海外学会とはこういうものか!

近森病院 循環器内科 中山 拓紀 なかやま ひろき
(4/1~ 国立循環器病研究センターにて国内留学中)

演題

Prolonged Door-to-Needle Time in Acute Pulmonary Embolism of Intermediate-Risk

3度目の演題採択でやっと現地開催となり、初めての海外発表でした。自分にとって初めての臨床研究で、当院の肺塞栓症のデータ



から、「診断治療が遅れがちな中等度リスクの症例についてどうアプローチするか」という内容で発表させて頂きました。

海外学会の規模に圧倒されると共に、自分世代の若手

が数多く堂々と発表している姿に感銘を受けた3日間で、他の参加者との議論を通じて研究内容のまとめ方や提示の仕方についても勉強することができました。

発表学会の合間には、現地のB級グルメ“ベニエ”や“ケイジャン料理”に舌鼓を打ち、バーボンストリートで音楽とお酒に酔いしれ、ミシシッピ川をクルージングするなど有意義に過ごしました。

このような貴重な経験のために指導頂いた土居先生、一緒に楽しい旅をして下さったお二方に感謝しています。



第19回 日本医療マネジメント学会 高知県支部 学術集会



会長

川井 和哉

社会医療法人近森会 近森病院 院長

日時

2023年

8月27日(日)

会場

高知市文化プラザ
かるぽーと

プログラム(予定)

● 特別講演

「トレーナーから見た東京オリンピック
～いかに準備していかに戦ったか(仮題)」
鴻江スポーツアカデミー
代表 鴻江 寿治氏

● 一般演題発表

● クリティカルパス展示

詳細は、ホームページをご覧ください。

<https://www.chikamori.com/jhm19/>



国内留学

北里大学北里研究所病院 炎症性腸疾患先進治療センターでの1年半

留学期間 / 2021年10月1日~2023年3月31日

近森病院で初期研修を終えた後、消化器内科での研修がスタート。医師7年目の夏に、運よく国内留学の機会をいただき、北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先進治療センター（以下IBDセンター）での研修を開始しました。

今まで炎症性腸疾患（以下IBD）に接する機会があまり多くなく、右も左もわからない状態でのスタートでした。また、高知で生まれ育った私にとって東京での生活も不安だらけでしたが、IBDセンターには全国各地から学びに来ている若手医師が多く、皆で切磋琢磨し助け合いながら研修をすることができました。

レジデントの研修内容としては主にIBDを中心とした業務（IBD患者の外来業務・入院の担当、指導医の外来補佐、検査（大腸鏡、小腸鏡、腸管エコー等）、カンファレンスの準備）があり、熟練した指導医の下、学ぶことができました。また、臨床研究も数多く行っており、自らデータを集め解析し、解析結果をもとにカンファレンスで意見を出し合い、論文にまとめ報告しています。私自身、腸管エコーに関する研究を行い、結果をまとめ、海外学会で発表させていただき、とてもいい経験となりました。

IBDに関してだけでなく、治療や患者さんに対する考え方で、たくさんのことを学ぶことができ、今までの人生でもとても濃厚な1年半だったと思います。この経験をもとに、高知県で還元できたらと思っています。

近森病院
消化器内科
前田 真佐
まえだ まさ



日本専門医機構 専門研修プログラム修了



消化器内科 岡田主任部長と

内科専門研修プログラムを終えて

近森病院 消化器内科 吉田 莉奈 よしだりな

近森病院での2年間、幡多けんみん病院での1年間の研修を経てあっという間に後期研修を終えました。J-OSLERの登録は実際とても難渋しましたが、近森病院での研修時代からの多彩な経験や、遠方でも手厚くサポートしていただいたおかげで無事に達成し得えました。

今後も周りへの感謝や常に学ぶ姿勢を忘れず、日々邁進してまいります。

今後の医師人生に活かして

日本医科大学千葉北総病院 大元 文香
(~3/31 近森病院 整形外科) おおもと ふみか

4年間の整形外科専門研修プログラムを修了し、このたび専門医試験に合格しました（論文作成をさぼったので専門医認定は来年度です!）。

それはともかく、この4年間の近森病院+aにおいて、一緒に働いた方々や患者さん達から明に暗に教えていただいたことを大切に今後医師人生に活かしていきたいと思っています。



高知での9ヶ月間の院外研修

研修期間 / 2022年7月1日~2023年3月31日

研修受け入れ

飯塚病院 循環器内科 縄田 英吾 先生
なわた えいご



執筆者: 左から2番目

内科専攻医の院外研修として9ヶ月間、近森病院循環器内科で過ごさせていただきました。飯塚病院の上司が近森病院循環器内科の先生方と交流があったことから2022年度から新たに連携施設として受け入れていただき、研修させていただけることとなりました。四国に上陸するのが初めてで新天地での不安もありましたが、内科及び救急の先生方、病棟・カテ室・救急のコメディカルの方々など病院スタッフの皆様にご指導いただき、助けていただいて実りある研修期間を過ごすことができました。ありがとうございます。

研修当初は一日に行われている手技件数やカテ室の運用の速さ・スムーズさに圧倒されました。日々の業務に追われることも多かったですが、その中でも虚血・不整脈・エコーなど循環器の中で様々な領域の経験を積ませていただきました。

また、共同施設として行っている研究や個人単位での臨床研究などを科として積極的に行っていて非常に刺激になりました。また、もの凄くパワフルかつ優秀な3人の同期からも多くの刺激をもらって、より丁寧な診療を心がけ、学会・研究活動も積極的に行っていきたいと強く感じました。

2023年度からは大阪にある国立循環器病研究センターで半年間、研修予定ですが、近森病院で学んだこと・経験したことを活かして日々頑張りたいと思います。



4+1年間の成果

近森病院 整形外科 西田 一平
にしだ いっぺい

この度整形外科専門医試験を突破し、無事専門医の資格を取得しました。学生時代は再試験組の常連?でしたが、同僚や先輩方のお気遣いもあり、どうにか同じ轍を踏まずに済みました。試験は及第点でも、日常診療では常に満点を目指し邁進する所存です。まだまだ未熟者ですが、今後ともご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。

2022年12月22日、整形外科専門研修プログラム修了式にて、整形外科 西井主任部長を真ん中に



看護外来

要予約

場所: 外来センター

生活のこと、病気のこと、薬の飲み方など、お気軽にご相談ください。認定を受けた看護師、療養指導士が対応いたします。

がん



日時: 月~金 15時~17時

心不全



日時: 火曜日

認知症



日時: 水曜日 午後

脳卒中



日時: 適宜相談

腎臓病



日時: 月曜日 午後

スキンケア
ストーマ



日時: 月曜日

糖尿病



日時: 月~金 適宜相談

リウマチ



日時: 月~金 適宜相談

フットケア



日時: 月・木・金 午前

原則無料
対象

検査や医師の診察になった場合は、指導料や費用が発生することがあります。

患者さん、ご家族 *当院にカルテのない方でも大丈夫です。

連絡先

外来センター看護師長 川久保または田村まで
社会医療法人近森会 近森病院 088-822-5231

熱烈応援 昇格人事

想いを形に

診療支援部 企画課 課長補佐
北川 真也 きたがわ しんや



企画課は業務も多岐にわたり試行錯誤の毎日ですが、グループの発展と質向上のために昼夜取り組んでいます。

選ばれる病院をつくる源は、何より患者さんへの想いと、働く我々が互いを支え合う想いに他ならないと考えます。

そうした真摯な想いを様々な取り組みに反映させ、ひとつでも多く形にできるよう、引き続き研鑽していく所存です。

New face

ニューフェイス

- ① 所属 ② 出身地 ③ 最終出身校
- ④ 卒業年次 ⑤ 趣味など

宇都宮 慧

うつのみや けい

① 腎臓内科・人工透析内科医師

② 高知市

③ 日本大学

④ 2012年

⑤ ちょっぴりひっこみじあんの38才です。趣味は映画を見る事と食べ歩きです。どうかよろしくお祈りします。



ハッスル研修医

新しい場所で

初期研修医1年目
(高知大学・近森病院たすきがけプログラム)

井上 愛美 いのうえ まなみ

私は高知生まれ高知育ちで、大学も高知大学に進学しました。初期研修では、救急が強い近森病院と大学病院の違いを学びたかったので、高知大学医学部附属病院と近森病院のたすきがけプログラムを選択しました。1年目は近森病院で研修させていただきます。

大学を卒業し、近森病院という新しい場所で働く毎日は、まだ分からないことだらけで戸惑うこともあります。同期や2年目の先輩方、たくさんの先生方やコメディカルの方々の優しさに支えられ、近森病院で働けることに日々喜びを

感じています。今研修させていただいている救急科では、医師や看護師、救急救命士、技師などのチームワークが素晴らしく、この緊密な連携が近森病院の救急医療を支えているのだと感じています。

1年間という短い間ではありますが、近森病院で学べることを精一杯吸収していけるよう精進いたしますので、どうぞよろしくお祈りします。



近森病院

献血 キャンペーン

6/22 (木)
12:30~17:15

400ml 限定

場所/
近森病院 総合受付
玄関前駐車場



子どもお仕事参観日

2023年3月31日

高知ハビリテーリングセンター
センター長

西岡 由江 にしおか よしえ

2023年3月31日(金)に高知ハビリテーリングセンターにて「子どもお仕事参観日」を実施しました。

当日、職員3家族のお子さん6名(小学2年生～高校1年生)が参加してくれました。

職員が子どもたちを引率し、ハビリを案内。訓練室や障害者が働く就労支援事業所などで保護者の働く姿を間近に見学した後は、一緒に働く体験もしてもらいました。保護者以外の職員とも名刺交換をして仕事ぶりをインタビューするなど、様々な交流を図ってもらいました。

アンケートでは「お母さんが、お母さんでよかった」と感想が書かれており、職場中が元気で笑い声と笑顔であふれる一日でした。



退職

ごあいさつ

近森リハビリテーション病院 画像診断部
診療放射線技師(前技師長)

高橋 宏幸 たかはし ひろゆき 在職 1989.3.27 ~ 2023.4.10

たくさんの思い出とともに

1989年の春、診療放射線技師として近森会へ入社して34年、2023年4月に定年を迎えました。振り返ると、地域医療支援病院や災害支援病院として「チーム医療」「質の向上=良い医療」を行うと士気を感じる職場でした。

入社時の放射線診断装置は、例えるなら外見からは分からない強い体幹を備えた定電圧が得られる三相全波整流装置が設置されていました。加えて、山本前技師長が現像温度とモーター速度を上げて改良した世界最速の医療X線フィルム用現像機も稼働して、良質かつスピードを必要とする救急医療を担っていました。

忘れもしないのが画像の電子化移行時期に、一般撮影装置でフラットパネルを変更導入するため画像診断部内で議論を重ね、その意見を近森理事長が理解して認めてくれたことです。これにより、現在でも全国に誇れるシステムが完成しました。

次の近森リハビリテーション病院では、和田院長からの医療放射



線安全管理責任者指名を受け、より専門性を活かせる画像診断部が生まれました。そして、院内見学で嚥下造影検査も見学された看護師さんからは、放射線技師さんもチーム医療を行っているとの感想を聞き及び私にとっての褒美となっています。

最後に、近森会で今日まで診療放射線技師を続けることが出来たことに対して皆様に感謝申し上げますと共に、今後の画像診断部へのご支援もお願いいたします。

痒くないところまで手が届く高橋さんの有難さ

近森リハビリテーション病院が新築移転をしてすぐに、技師長を役職定年した高橋さんがやってきてくれました。

誰が言ったか「痒くないところまで手が届く」そんな安心感と頼りがいにあふれた高橋さんは、私が側弯の全身のレントゲンが撮りたいなあという、ホームセンターで木材とスチロールを買ってきて部品を作ってくれました。言語聴覚士が嚥下造影で車椅子の角度設定に難渋しているのを見過ごさず、一発で調整できるように大きな三角定規を手作りしてくれました。

知らない間に修理費用を値切ってくれて、酸素ガスの毎日の点検が必要と聞けば県外まで資格をとりに行ってくれました。本当に何から何までお世話になりました。

退職直前にも様々な手順を文章におこし、フリーソフトで嚥下の咽頭挙上の距離を測れるように設定してくれていました。

最後まで本当にありがとうございました。ご定年、おめでとうございます！

近森リハビリテーション病院 院長 和田 恵美子
わだ えみこ



和田院長(右)と一緒に。



【心に残ったこと
(アンケートより)】

- おかしの箱をおること、谷おり、山おりがむずかしかった
- りょう者さんとの関わりかたなどの方法
- いろんな人について楽しそうにリハビリしているところ





リレーエッセイ

久しぶりのおでかけ！

近森病院 救命救急病棟 看護師 山中 鈴良

やまなか れいら



やっとコロナも落ち着いて外出をすることができ始めました。みなさんはどうお過ごしでしょうか？コロナの影響で色んなイベントなども中止続きでストレスも溜まっていたと思いますが、これからは外出できる機会も増えてくると思います。

私は最近友達とお花見しに出かけました。やっぱり桜は綺麗で心も華やかになって頑張ろうと思えるものですね。コロナで出かける機会もなく、もう早何年ぶりかのお花見であった気が

します。みなさんにも綺麗だった満開の桜をお裾分けします(笑)。この時は友達みんなで桜を見ながらお弁当を食べて楽しい話をする事ができてとても楽しかったです。人と話をするだけでもポジティブな気持ちになりますよね！

これからは前からの趣味である景色巡りを友達といっばいして楽しい時間を過ごしていきたいと思います。いいところがあればぜひ教えてください。みなさんも色んなところに行って楽しい思い出をたくさん作ってくださいね。



私の趣味

楽しい時間

近森オルソリハビリテーション病院
作業療法科 作業療法士

中城 孔汰

なかじょう こうた



私にとっての楽しい時間はダンスです。私がダンスを始めたのは高校3年生の頃に友人に誘われたことがきっかけでした。元々、ピアノや写真が趣味で、自分の感じたものを別の形で表現することが好きだったため、ダンスもすぐに好きになりました。

ダンスは足のステップを中心としたスタイルで、初めの頃はなかなか上達せず、友人と毎日のように学校帰りに公園で練習していました。徐々に上手くなっていくことで同じダンスをしている県外の練習会に呼んでもらえる機会があり、県外の方との交流が深まることでより一層楽しく感じるようになりました。



ここ数年はコロナの影響もあり練習会には参加できず軽い運動程度にしかできていませんが、今でもダンスは私にとって楽しい時間です。また、練習会も最近では開かれるようになったので参加したいと思っています。



FREE

まるまる

私の〇〇

〇〇にフリーワードを入れて語っていただきました

私の「お弁当作り」



近森病院
外来センター
看護師 主任

塚本 綾

つかもと あや

高校2年生、中学3年生になる育ち盛りの息子2人のお弁当作りは、前日の残り物や休日に作り置きしたおかず、冷凍食品にも頼りながら5年目になります。

作り始めた頃は給食のありがたみをどれほど感じたことか…。

栄養バランスの偏りがないように、なるべく茶色ばかりにならないようにと気を付けているつもりです。

文句も言わず、毎日残さずキレイに食べてくれて感謝です。人に見せるつもりはないけれど、お弁当の記録として写真にも納め続けています。

子供が大きくなった時、青春の1ページにこのお弁当達が記憶に残っていれば嬉しいなと思います。



災害時の発電機、投光器、土のうパネルの使用訓練

2023年4月27日

発電機はガソリン約8ℓで7時間連続運転可能だそうです。土のうパネルも水に浮きそうですが、滑り止めもあり、有ると無いとじゃ大違いだそう。今日も防災に取り組みます！



歳時記

とある、ひろっぱ委員の
写真日記



● 4/23 四万十川からの帰りに

● 5/2
天気最高！
砂浜美術館

● 5/4
花がらんまん
@中央公園



看護学校通信

“学校長便り”200号発行に寄せて

近森病院附属看護学校 学校長 山崎 正博 やまさき まさひろ

2018年9月に近森病院附属看護学校学校長に就任してから、学期の間に毎週発行していた“学校長便り”が200号を迎えました。授業や実習が多忙で学校以外に目の行かない学生に対して、社会人基礎力をつけてもらうために発行してきました。内容は日常の体調管理や学習へのアドバイス、推薦図書や各種投稿記事等でこれから入っていく医療の世界も紹介してきました。活用いただいて、少しでも自分を磨いていく素材にいただければと思って発行しています。



編集室
通信

先日の就職セミナーは近森会らしさが出ていたと感じる。医療機能評価の受審と重なり、超多忙にも関わらず開催はあっさり決まり、決まってからのスピードと各部門の出来映えには驚かされるばかりであった。他の職種との信頼関係が伝わった。楽しそうにしている人が多かった等の参加者からのご意見に、我々も忘れかけていたものを思い出させてもらった。 にゃ〜ご

今月の
ちかもり食

— エームサービス株式会社 —

【いのちのスープ】
ポルトガル風
人参のポタージュ

4月18日(火)



人参を同じサイズにカットし、トマトは種をとったりと丁寧に丁寧に作業をし調理師が心を込めて作りました。人参の甘みを感じられるスープになりました。



「スープサービス」について詳しくはこちらから →



診療数 令和5年4月

— 電子カルテ管理課 —

● 近森会グループ

外来患者数 16,030人
新入院患者数 1,050人
退院患者数 1,126人

● 近森病院(急性期)

平均在院日数 11.49日
地域医療支援病院 紹介率 104.58%
地域医療支援病院 逆紹介率 375.68%
救急車搬入件数 582件
うち入院件数 314件
手術件数 597件
うち手術室実施 354件
うち全身麻酔件数 248件

竹崎 智博

Tomohiro Takezaki

診療支援部 医事課 課長
日本DMAT(ロジスティック)隊員

聞き手／ひろっぱ編集部



幸せは
みんなと一緒
に
創るもの

長所は「コミュニケーション力が高くて友人が多いこと」と揚々に語る。屈託ない明るさに、ふっと飲み込まれたような気分になったところに「巻き込み上手なんです」と付け加える。忘年会やキャンプなどの計画も言い出しっぺで、数年前には神奈川県にある大学の同窓会もセッティング。全国に散らばる仲間を集めた。音頭取りだけでなく面倒見も良さそうだから自然と友人は多くなるだろう。

医事課のこと

松田病院に入職後、統合に伴い近森病院へ。それから15年、ほぼ医事課道をまっしぐら。約100名を束ねる課長として活躍する。「医事課は、始めこそ難しいイメージもありましたが仕組みが分かればおもしろいです。めまぐるしく変わる医療情勢の動向や点数表(かなり細かい)をチェックすることも大切です、仕事内容は多岐に渡ります。なかでも診療行為を漏れなく算定するのが重要です。医事課のみんなはコスト意識も高く、保険請求のプロとして業務に励んでい

インテリアにも凝っており、無類のランプ好きと言う。写真は四万十のYokan MAGICさんの作品「世界に二つだけのランプの灯りは癒しの友です」。



ます。何より人間関係が良いので楽しいです」と伝えてくれた。

東日本大震災にDMATとして派遣

2011年3月11日15時前、郵便局でテレビに映った震災光景を見ていると電話がなった。「竹崎、行くぞ!」と。DMAT隊員として登録していたが、まさかと戸惑いつつも当日17時に福島へ出発、2日間活動し一旦帰高。翌週、今度はJMATとして石巻市へ。商店街には津波で押し寄せられた船が残り、道路には死んだ魚が散乱。ライフライン等は全て使えず。そんな状況でも医療支援ができるよう環境を整え、刻一刻と変わる状況を把握しメンバーへ共有、他病院との調整や食事の準備など何でもやった。

印象的だったのは、そんな過酷な状況の中でも、子どもからお年寄りまでみんなが協力し合う姿で、支援している側が奮い立たされたそう。そんな非日常の体験を振り返りつつ、「緊張状態での臨機応変さも求められ学ぶことも多いので、若いスタッフもDMATに挑戦して欲しい」とエールを送る。

仲間を生かし、生かされる

プライベートでは、オーガナイザー兼DJとして活躍。高知在住のDJ仲間やクリエイターらと手作りのイベントを企画している。1,500人もが集まった「Musiq Lovers」は伝説となった。コロナ禍を省き、ここ数年ほどは幅広い人脈を生かした野外フェスに

参加することも多く、先月には、久々にいの町主催の「en」にもDJとして参加した。

友人を巻き込んで手作りのビッグイベントを成功に導いているのは竹崎課長の企画推進力の賜物だが、仲間を信頼し、託し、自らも心から楽しんでいる。

掘り下げて聞いてみると、少年野球チームに始まり、中、高校のソフトテニス部でもキャプテンをしていたというから、持って生まれたリーダー気質があるのだろう。



先月、グリーン・パークほでの開催された「en」。写真は友人のキャンドル作家・mowcandleさんによる演出。

高知で、こんなにおしゃれで ハッピーなおんちゃんらあが!

個人のブログを拝見すると、自身はあまり写っておらず友人やお子さんばかり。周りの方を大切にしている様子が伝わる。

一見ファンキーでキャラの濃いご友人たちだが、BBQをしたりタタキを焼いたり、していることは、ズバリ高知らしいおんちゃん!である。

ただ、おしゃれに楽しく人生を謳歌している様子を垣間見ると、高知がとても素敵な場所で、年を取るのも悪くないと思ってしまう。同じ時間を過ごす仲間(友人、同僚、家族)を誇りに思い、ともに夢中で作り上げることでプロジェクトの成功が積み重なる。楽しくないはずがない。

